

令和4年度 地域公開講座 ろう・難聴児の保護者学習会のご報告

令和4年10月6日に『聞こえるきょうだい SODA の立場から～家庭でのきょうだい児への関わり～』というテーマで学習会を行いました。講師は、SODA の会代表・弁護士であり、ご自身も聞こえない弟を持つ藤木和子さんでした。

『難聴児の早期発見・早期療育基本方針案』には、家族等に対する支援として、『きょうだい』を含めた支援が行われるように記載されています。聴覚に障害のあるきょうだいがいても、対等でありたい、聞こえるから頑張れ!とか聞こえないから可哀そう・・・等無意識にその子の役割を決めていたり、比較してしまったりすることがないようにしたい、という思いで藤木さんは活動されています。ぜひ、他の場所で行っている学習会にも参加されてみてくださいね。お話を聞いたり、誰かに話をしたりすることで、気持ちが楽になることがあるのではないのでしょうか。



藤木 和子さん



<聞こえないきょうだいをもつ SODA ソーダの会>



【参加された方々からの感想】

○難聴児の子は身近にいないので、参考になりました。ありがとうございました。



○乳幼児相談を卒業してからろう学校との関わりがなくなり、難聴児の子育ての話をする機会が少なくなったため、地域公開講座などで同じような悩みを持ってきた方のお話を聞けるのは、とても勉強になりました。

○健聴の姉が中2なので、きょうだい児本人が興味があったら、一緒に聞いてみても良かったかなと思いました。

○家で仕事をしつつの視聴だったのですが、全部はちゃんと聞けなかったのですが、Zoom にしてもらえて参加することが出来たので良かったです。

○難聴の息子(0歳)のお姉ちゃん(健聴3歳)について、お姉ちゃんの役割を強制しないなど自分なりに気をつけてはいましたが、もう少し大きくなってからどんな問題が生じる可能性があるのか知らなかったので、いくつかエピソードと解決案を聞いて具体的にイメージすることができ、とても勉強になりました。

○難聴で発達のおんびりの次男が産まれて3年、その場その都度で考える段階があり、毎日バタバタと過ごしていましたが、SODA の方の話を初めて聞いて、ついワンオペで、セットになりがちなきょうだい一人ひとりの心にきちんと目を向けられていたか、これからどのようなバランスで過ごしていくのかを改めて考えるきっかけとなりました。